

理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for
Science and Technology
Newsletter

私の一冊

機械工学科

三木則尚先生

『なぜ脳はアートがわかるのか：
現代美術史から学ぶ脳科学入門』
エリック・R・カンデル著

高橋洋訳
(青土社)



配架場所：創想ライブラリー

現代アートって何がいの？でも語れたら格好いいかも！そう思った人は少なくないはず。本書では、2000年に神経系の情報伝達に関してノーベル生理学・医学賞を受賞したエリック・R・カンデルが、現代アートを『科学的に』解説してくれます。少しネタバレすると…。現代アートは、作者だけでなく鑑賞者である我々の、経験や知識に基づいたトップダウンの意味の理解を必要とし、それゆえ我々もまた作者である。本書を読むと納得できます。その他、古典から印象派、そして現代アートまでの流れも分かりやすくまとめられています。やっぱり最初はマルセルデュシャンだよ。なんて格好つけながら、現代アートの世界に一歩足を踏み入れましょう！

Contents

研究生生活に役立つ！ 春のセミナー案内	P.1
電子資源の更新情報	P.1
理工学部教員の「私の一冊」	P.2
2023年度オリジナルグッズ	P.2
館内施設の 利用制限解除について	P.2

セミナー 研究生生活に役立つ！ 春のセミナー案内

メディアセンターでは毎回好評をいただいている研究生生活に役立つ各種セミナーを今年度も開催いたします。皆様ぜひ奮ってご参加ください。

▼論文PDFを一括管理！

文献管理ツールMendeley活用セミナー

5月17日(水)15:00-16:30

6月9日(金)16:00-17:10

論文情報やPDFを管理し、引用文献リストを自動出力できる無料ツール。基本的な機能を実習形式でご案内します。



▼化学の研究に必須！専門データベースを使いこなそう

SciFinder-n 検索セミナー

4月26日(水) 基礎編15:00-16:00

応用編16:10-17:10

Reaxys検索セミナー

5月10日(水) 15:00-16:00



▼学術論文の検索・入手方法の基礎をマスター！

文献探索セミナー(研究室向け) 開催中！

これから研究をはじめめる新4年生や新しく矢上キャンパスにいらした方を対象に論文検索と入手方法をご案内します。

研究生生活のスタートにおすすめ！個人受講者向けも開催します。



研究支援

電子資源の更新情報

2023年の電子ジャーナル、データベースの更新情報をお知らせします。

■電子ジャーナル関連

• Elsevier、Natureの電子ジャーナルバックファイルを追加しました。

1. Elsevier High Energy/Nuclear Physics and Astronomy (40誌) ~1994年
2. Nature Biomedical Engineering 2022年
3. Nature Catalysis 2022年
4. Nature Electronics 2022年
5. Nature Reviews Chemistry 2017年~2022年
6. Nature Synthesis 2022年

• Wileyと転換契約を結びました(2023年1月から2年契約)。

対象誌についてオープンアクセス化のための論文掲載料(APC)が105本まで無料になります。詳細は当センターWebサイトトップ「論文掲載料(APC)の補助・免除・割引」をご覧ください。

■データベース関連

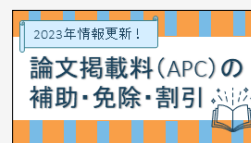
• JDreamⅢ：4月から同時アクセス数が以下のとおり変更になります。

20アクセス→2アクセス(2023年4月~)

• CAS SciFinder-n：4月からCAS SciFinder Discovery Platform for Academicsに変わります。CASが提供する教育・研究のためのワークフローツールを総合的に利用できるプラットフォーム型サービスで、CAS SciFinder-n以外に以下のサービスが含まれます。

CAS Analytical Methods：分析手順、測定機器、バリデーションデータなどの分析情報に特化した検索サービス。

CAS Formulus：製剤・配合情報に特化した検索サービス。医薬品・農薬・化粧品を中心とした製剤・配合情報を効率的に入手可能。



今月の一枚：
返本台



館内資料を読んだ後、どの書架から持ってきたか忘れてしまい、当たりをつけて戻ってしまった、なんてことはありませんか？

このような行為はお止めください。本を戻す場所がわからない時は、館内各所にある返本台に置いてください。スタッフが正しい場所に戻します。

館内資料は書架の並び順等を示す「請求記号」によって定位置が決まっています。そのため間違った場所に戻すと探し出すことはきわめて困難で、行方不明の資料になってしまいます。

ただし、返本台に置くことができるのは貸出手続きをしていない資料に限ります。貸出手続きをした資料は、必ず貸出・返却カウンターあるいは館外のブックポストに返却してください。

メディアセンター豆知識

落とし物・忘れ物

紛失すると非常に困るはずのスマホ、財布など、貴重品の落とし物・忘れ物が実は館内でとても多いのです。退館ゲートが学生証認証になる前は、学生証も常連でした。

館内の落とし物・忘れ物は、発見当日に限り、創想館1階貸出・返却カウンターでお預かりしています。

「あっ！」と思ったら、自分がなくなるときも、見つけて届けてくださるときも、貸出・返却カウンタースタッフにお声がけください。

翌平日には、25棟学生課学生生活担当に引き継がれます。

親切な人が多く、落とし物が戻ってくるキャンパスですが、落とさない！ 忘れない！ が一番です。

小展示

理工学部教員の「私の一冊」

4月3日(月) から小展示「理工学部教員の『私の一冊』」を開催します。

「理工学メディアセンターニュース」に連載中のコラム「私の一冊」では、理工学部の先生方がお薦めしたい本を紹介しています。紹介されている本は研究に役立つ本、若かりし頃の思い出の一冊など分野も様々で、学生の皆さんに向けたコメントでは先生方のお人柄、関心事が垣間見えます。

今回の展示では2020年度から2022年度に掲載した19冊の本が並びます。新年度の読書のヒント探しに、ぜひお立ち寄りください。

【期間】4月3日(月) - 5月31日(水)
【場所】理工学メディアセンター創想館1階

これまでの「私の一冊」はこちらから



お知らせ 学習・研究のおともに！

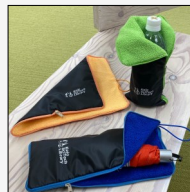
2023年度オリジナルグッズ

2023年度理工学メディアセンターオリジナルグッズとしてKeio SciTech Libraryのロゴ入り「透明ポケット付き不織布バッグ」と「吸水クロスマルチカバー」を作製しました。A4サイズがすっぽり入るバッグは、矢上キャンパスの皆さんに「お気に入りの場所」を見つけてもらうアンケートと連動して配付を企画しています。

なお、2022年度グッズの猫型フックマグネットプレゼントアンケートでは、集中して学習できる席の人気が高く、またオンライン面接可能な個人ブースを切望する人が多数でした。次回のグッズプレゼントアンケートにもぜひお気軽にご参加のうえ、バッグをゲットしてください！また、ペットボトルや折畳み傘入れ、ハンドタオルとしても使えるマルチカバーは、サイエンスカフェやプレゼンバトルなど、イベントにご協力いただいた方へのプレゼントを予定しています。

「猫型フックマグネット」プレゼントキャンペーンアンケート結果概況 (2023年1~3月実施)

- ◆よく利用する場所は？TOP 3
 - ①2階窓際個室
 - ②地下自習室
 - ③静かエリア
- ◆館内/キャンパスに「あったらいいな」エリア
 - ①個人ブース
 - ②仮眠スペース
 - ③軽食可エリア



お知らせ

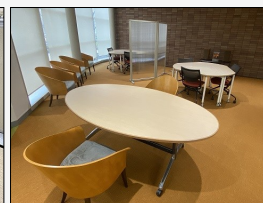
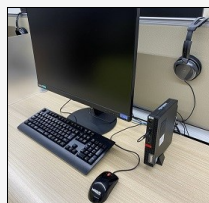
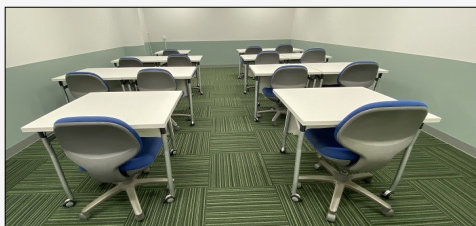
館内施設の利用制限解除について

義塾における新型コロナウイルス感染予防対策の見直しに伴い、3月13日より理工学メディアセンターの各施設やサービスの利用制限を解除しました。

【利用制限を解除したエリア・サービス】

- ・本館閲覧席のパーティションを撤去
- ・本館・創想館PCエリアにヘッドフォンを再設置
- ・創想館学習エリア席のグループ利用再開
- ・創想館セミナールームA/Bの利用人数制限解除

館内でのマスク着用は、原則個人の判断となりますが、手洗いや飛沫対策など基本的な感染防止に引き続きご協力をお願いいたします。



理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作権の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。



発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
TEL: 045-566-1477
E-mail: rmc-info-group@keio.jp
URL: https://www.lib.keio.ac.jp/scitech/

電子版はWebサイト「理工学メディアセンターについて」メニューにある「刊行物・統計」よりご利用ください。

Twitter

